

# 未来を担う若者へ！食育セミナーと調理体験

事業実施主体:岐阜市(岐阜県)

○岐阜市では未来を担う若い世代にバランスのとれた食事の必要性や食に関する正しい知識、情報を伝え、健康的な食生活を身に付けることを目的に、高校生を対象とした食育セミナーを行った他、幼児、児童等やその保護者を対象とした調理体験を実施した。

○これらの事業の結果、高校生や幼児等を持つ親世代の食事に対する意識に変化が見られ、バランスよく食事をとる者の割合が増加したほか、産地等を意識し食材を選ぶ割合が増加し、食生活の改善を図ることができた。



## 【取組の内容】

### ○味わう教室「高校生食育セミナー」の開催

高校生が食の大切さを学び、食に関する必要な情報を選ぶ力を身につけることを目的としたセミナーを開催

- 「食育SATシステム」を使用した主食・主菜・副菜の揃ったバランス食を学ぶ講座や、食育を推進する団体と協働で和食文化の継承についての講座を開催。

参加者:市内高等学校高校生133人(通年8回)

### ○味わう教室「キッズトントン教室」、「キッズ応援隊教室」、「ファミリー・クッキング教室」の開催

地産地消や地域の食文化を理解し、健全な食生活を実施することができる子どもたちの育成を目指し食生活改善推進員と連携して、講義や調理実習を開催。

- 「キッズトントン教室」

参加者:幼児等209人(通年9回)

- 「キッズ応援隊教室」

参加者:児童204人(通年9回)

- 「ファミリー・クッキング教室」

参加者:児童とその保護者134人(通年6回)



## 【取組の成果】

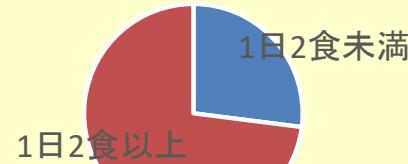
実際に目で見る、調理するなど体験型の事業を行うことによってより効果的に食に関する知識を周知できた。

### 【事業の目標】

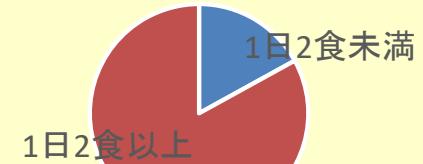
各事業の実施前後にアンケートを実施

○主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている者の割合の増加

事業実施前 73%

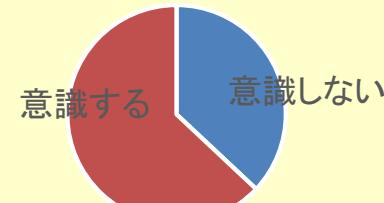


→事業実施後 83%



○産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の増加

事業実施前 63%



→事業実施後 80%

